

持続可能な湿地生態系としての水田と人間のための行動

2022年11月8日 19:45 | 14号室



Food and Agriculture
Organization of the
United Nations

水田の多面的機能の向上 スリランカとザンビアから学ぶ

李立峰

土地・水部門長

国際連合食糧農業機関 (FAO)



水田の多面的機能

- ◆ 水を蓄える湿地帯のような特性から、米の生産以外にもさまざまな役割がある。

水田での養殖

洪水対策

地下水涵養

生物多様性保全

景観

なぜ水田の多面的機能が重要なのか？



SDG6.4

「2030年までに、水不足に対処し、水不足に苦しむ人々の数を大幅に削減するために、すべてのセクターで水利用効率を大幅に高め、淡水の持続可能な取水と供給を確保する。

- ◆ 2030年までに必要な食糧は1998年比で約50%増えるが、農業用水の量は14%しか増加しないと予測されている。

- ◆ は、ひとつの水田から複数の利益を得ることは、世界の食糧と水の安全保障の両方に貢献することになる。

スリランカとザンビアの事例と教訓

効率的な農業用水の利用と
水田における管理強化
(2019-2022)



ザンビア

スリランカ



国家展望
ベストプラク
ティスに関す
るハンドブック

政策行動
マトリックス

投資ポート
フォリオ
コンセプト
ノート

普及と
能力開発

国の展望、課題と機会-スリランカ



稲作

コメ生産の約80%を灌漑で賄う

コメの平均生産性は4.75トン/ヘクタール

課題

降雨量の変化への対応

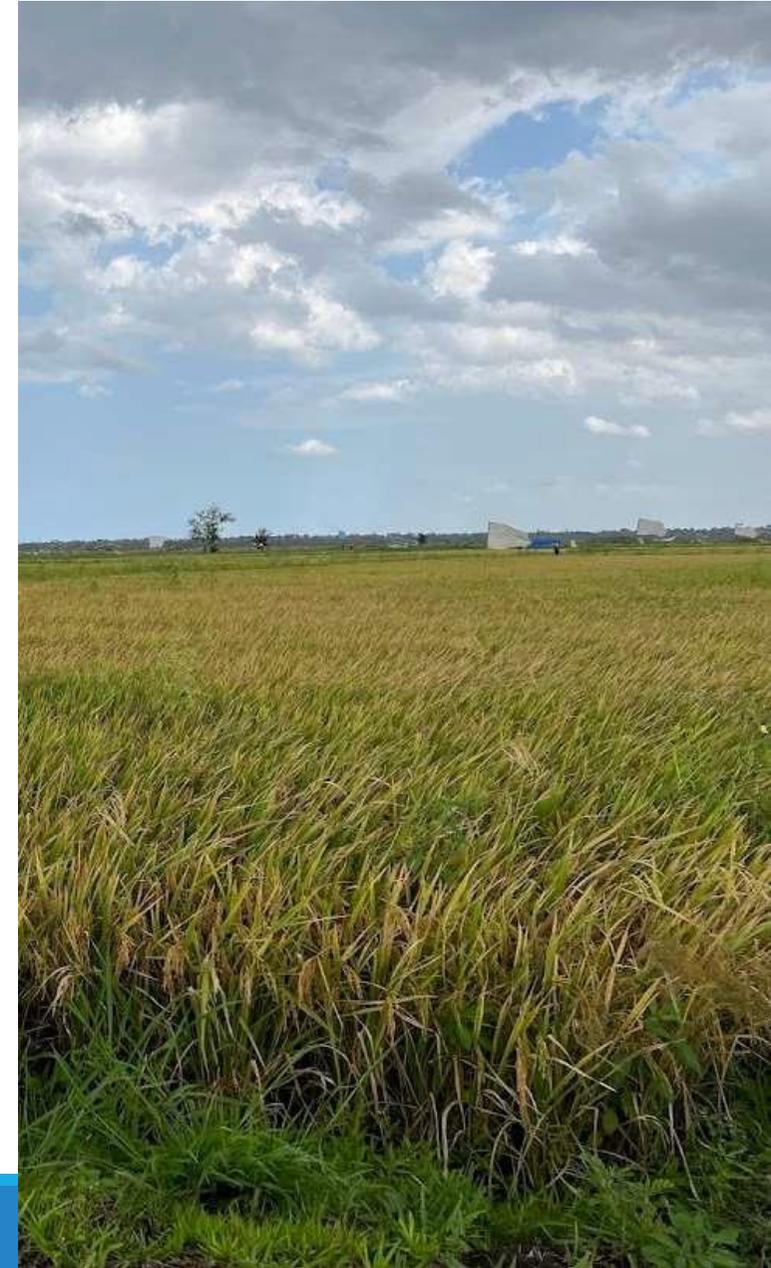
水使用の最適化



- ✓ 効果的な雨水利用
- ✓ 農場での水管理方法の改善
- ✓ より良い施肥
- ✓ 国家戦略と行動計画の策定
- ✓ 制度と法律の責任を整理する
- ✓ 水使用量を削減するインセンティブを農家に提供する。

多面的機能の発揮 - スリランカ

- 水不足のため、水田の水利用効率を向上させることに関心が集まっているが、その一方で、水田の多面的機能性から得られる利益についての認識が不足しているようだ。
- 水田の水管理政策は、灌漑用水に依存する水田の多機能的役割を考慮し、トレードオフを評価する必要がある。



国の展望、課題と機会-ザンビア



稲作

水資源は豊富だが灌漑面積はわずか

米の収量は平均1.06トン/ヘクタール

課題

不十分な水管理

不十分な灌漑インフラ



- ✓ 農場での水管理方法の改善
- ✓ 高品質の種籽を使用
- ✓ 集団栽培
- ✓ 5カ年戦略またはガイドラインの策定
- ✓ 水使用データの収集
- ✓ キャパシティビルディング

多面的機能の発揮 - ザンビア

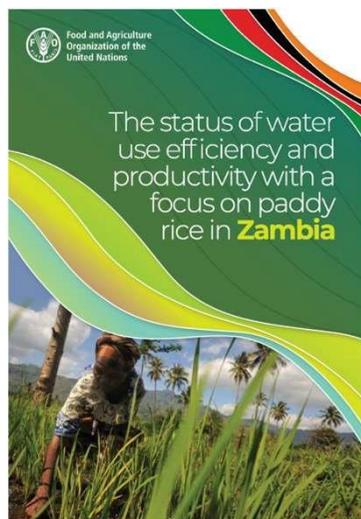
- 水田の多面的機能は、稲作が直面する多くの課題を同時に解決する鍵である。
- 稲作はダムボ（低地の湿地帯）で行われることが多いため、稲作と魚の養殖は、収入、雇用、栄養改善など、農村の人々に複数の利益をもたらすことができる。



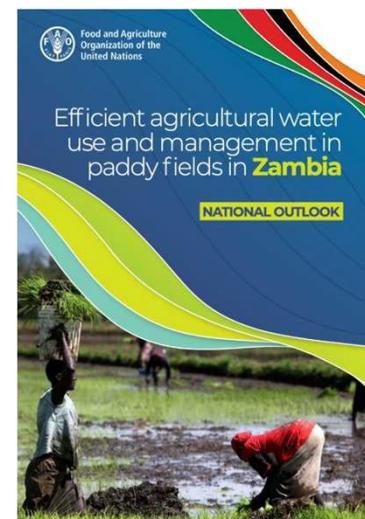
異なる事例から学んだ教訓

- 水田の多面的機能的役割は、気候、社会、文化、経済的条件によって異なる意味を持つ。
気候、社会、文化、経済的条件によって異なる。
 - スリランカでは、多機能の役割を守りながら、水効率と水生産性を高める戦略が必要である。
 - ザンビアでは、灌漑水田の多様な可能性を特定し、多面的機能への投資と強化のための戦略が必要である。
- 共通して重要なのは、水田を流域を含む湿地生態系として広くとらえ、水田の多面的機能に対する認識を高めることである。

ザンビアにおける水稲を中心とした水利用効率と生産性の現状



ザンビアの水田における効率的な農業用水の利用と管理



プロジェクト・フェーズII

水田における生産性の高い水利用と効率的な水管理の促進(2022~2025年)



ご清聴ありがとうございました